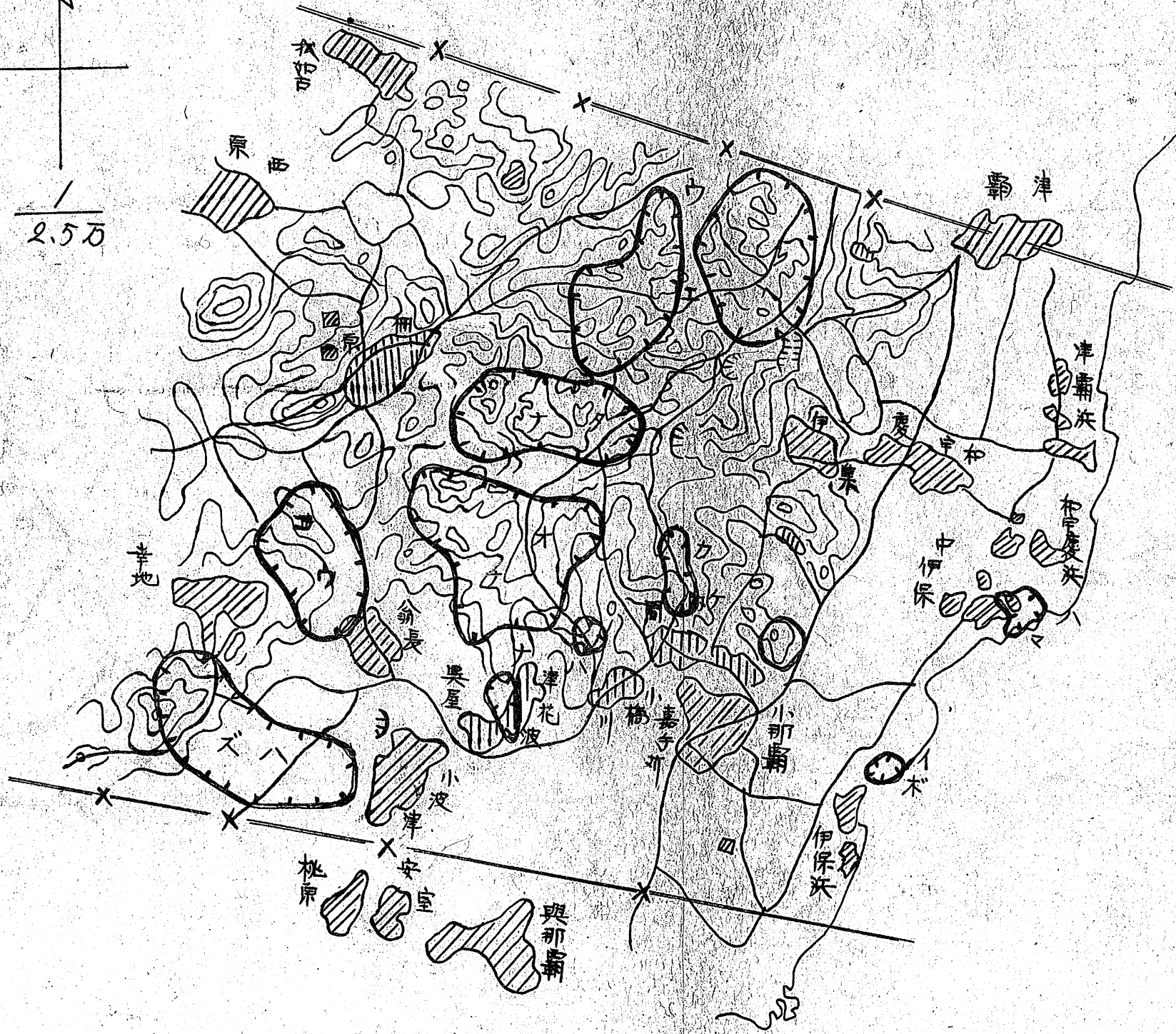


陸軍

十六日大隊ハ江蘇省吳淞出發海上輸送ニ依リ沖繩本島ニ前進ス

二十日大隊ハ沖繩縣那霸港ニ上陸シ中頭郡西原村ニ前進シ翁長國民學校ニ宿營シ沖繩本島防衛ノ任ニ就ク

大隊警戒地性要圖






# 管内兵力配置圖



凡	兵	器	室
例	經	理	室
	國	民	學校

九月

四日勅諭下賜記念日ニ當リ九時ヨリ校庭ニ於テ勅諭奉讀式ヲ舉行ス

八日大詔奉戴日當リ勅諭詔書奉讀式ヲ舉行ス

十四日兵科甲種幹部候補生 稻田毅以下五名  
陸軍曹長ニ階級ニ進ム

兵科見習士官ヲ命ズ

(八月三十一日附)

十六日

陸軍少尉

松下 茂

任陸軍中尉

以下 十一名

陸軍主計少尉

(九月十五日附)  
末永 義幸

任陸軍主計中尉

(九月十五日附)

十月

一日兵科乙種幹部候補生 川勝 納 以下八名



教育期間満了

任陸軍軍曹

兵科之種幹部候補生 片岡一男 以下十六名

教育期間満了

任陸軍伍長

經理部之種幹部候補生

一色圭藏

教育期間満了

任陸軍主計軍曹

(翌九月三十日附)

四日勅諭下賜記念日ニ當リ枝庭ニ於テ勅諭奉讀式ヲ舉行ス

十日本百七時敵機數百機來襲約八時間ニ亘リ延八百三機ヲ以テ

汝状攻撃ヲ以テ主トシテ那覇市街及船舶飛行場ヲ爆撃ス大隊ハ

敵機飛來ト同時ニ直ニ對空戦ヲ配備ニ就キ主トシテ機關銃

ヲ以テ應戰ス我方兵人其ノ他ニ異状ナカリシモ警備担區内ハ小那

覇村落約半数ヲ失セリ

陸軍

那覇市街ハ本爆撃ニ依リ殆ト瘡虚ト化セリ

十一日

從七位

恩田幹男

敘正七位

(五月十五日附)

正八位

中本信一

入場三藏

敘從五位

(五月十五日附)

十二日兵科見習士官 川松鉦治 以下六名轉入着隊ス

兵科見習士官 幡 治一 以下五名轉入爲出發ス

十五日現地初年兵 陸軍二等兵 稻嶺盛博 以下六名入隊ス

十九日初年兵入隊式ヲ舉行ス

十九日陸軍一等兵 橋村勝嗣 以下二十三名

昭和九年度 第一年度 下士官候補者ヲ命ス

二十日師團長ハ大隊防衛担任地區ノ陣地並ニ初年兵ヲ實視セラル

十一月

一日旅團長ハ大隊防衛担任地區ニ陣地構築状況ヲ實施セシ  
三日明老節ニ當リ九時ヨリ校庭ニ於テ遙拜式ヲ舉行ス  
四日勅諭奉讀式ヲ舉行ス

六日大隊ハ師團ハ「三號」演習計畫ニ基キ甲號戰備態勢變換及  
夜間機動演習ヲ實施七日正午終ア原態勢ニ復歸ス

八日大詔奉讀日ニ方リ勅語詔書奉讀式ヲ舉行ス  
十六日敵機動部隊ハ「パネ」郡島方面ニ於テ又基地航空部隊ヲ以テ支

那基地ニ於テ夫々出動ヲ準備中ナレモ、如ク南西諸島攻撃ノ算  
大元ニ鑑ミ大隊ハ師團命令ニ基キ十七日以降當今階別命令ヲ  
毎日六時三十分ヨリ九時ニ到ル間丙號戰備ニ就キ警戒ヲ嚴ナラシム

三六日  
補高射砲第五聯隊附  
陸軍大尉 金子 茂  
陸軍中尉 森本 優  
(十一月二十日附)

陸軍

同少尉 橋本 安次  
補獨立歩兵第三六大隊附  
(十一月十七日附)

陸軍獸醫少尉 三木 博  
第八師團輜重隊附

正八位 大井 正  
後從七位  
(三月十五日附)

十二月

四日勅諭賜記念日ニ當リ校庭ニ於テ勅諭奉讀式ヲ舉行ス  
八日大詔奉讀日ニ當リ校庭ニ於テ勅語詔書奉讀式ヲ舉行ス  
三十日獨立歩兵第十大隊長 陸軍中佐 福井 哲亮

補東部軍司令部附兼陸軍法務訓練隊所附  
第六十一師團副官 陸軍中佐 三浦 日出四郎  
補獨立歩兵第十大隊長